

**令和 6 年度    行政評価結果（令和 5 年度対象）  
～外部評価対象分～**

|              |                           |                |
|--------------|---------------------------|----------------|
| <b>施策102</b> | <b>防災・減災対策の推進</b>         | <b>… 1 ページ</b> |
| <b>施策405</b> | <b>公共交通の充実</b>            | <b>… 2 ページ</b> |
| <b>施策604</b> | <b>スポーツ・レクリエーション活動の振興</b> | <b>… 3 ページ</b> |

令和6年度行政評価（令和5年度対象）シート

政策 1 安全で安心に暮らせるまちをつくる

施策 102 防災・減災対策の推進

主担当課：危機管理課

○施策の目指す姿

「減災」の理念が行政・市民へ徹底され、災害への備えが充実しています。

○施策の展開

- 1 防災体制の強化

2 市民に分かりやすい防災情報の発信

3 多様な媒体による防災情報の発信

4 地域防災リーダー養成講座の開催

5 市民が行う防災活動への支援

6 民間住宅耐震化等の啓発・支援
- 7 防災施設の管理・運営

8 避難行動要支援者名簿の管理等

9 災害時支援の実施

○令和6年度 事務事業評価実施事業（令和5年度対象）

- 1 防災訓練費

2 地域防災リーダー養成費
- 3 自主防災活動支援補助金

4 民間木造住宅耐震化促進費

I 施策の関連データ・施策を取り巻く状況

○施策の関連データ

| 地域防災リーダー養成講座の受講者数（人）※清須市調べ | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|----------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|
|                            | 48    | 0     | 0     | 66    | 52    |
| 民間木造住宅耐震診断の実施件数（件）※清須市調べ   | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|                            | 14    | 22    | 12    | 11    | 27    |

○施策を取り巻く状況（基本計画策定時からの変化など）

- 災害発生時における避難所の運営や地域の自主防災活動において、リーダーシップを発揮できる人材を養成するため、平成26年度から「地域防災リーダー養成講座」を開催している。
- 平成23年の東北地方太平洋沖地震の発生を受けて、平成23年度には60件の耐震診断を実施したが、近年耐震診断の実施件数は伸びていない状況である。
- 南海トラフ地震等の大規模災害の発生が懸念される中、令和2年度に清須市国土強靱化地域計画を策定し、災害などにより致命的な被害を負わない強さと、速やかに回復するしなやかさを持った地域づくりに向けた取組を推進している。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和2年度及び令和3年度は自主防災訓練を中止したブロック等が多かったが、令和4年度から再開するブロックが増え、令和5年度はコロナ禍以前の実施数に近づいてきている。

II 達成度指標の状況

※達成状況の凡例：目標値を上回る（上回る見込）・・・◎、目標値を達成（達成する見込）・・・○、目標値を達成できず（達成が困難である見込）・・・▲、現状値を把握していない・・・

| 達成度指標                  | 基準値                                                                                                                                                                                                                                                                   | 後期計画<br>目標値       | 実績値              |                   |                   | 目標値の<br>達成見込 |
|------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|------------------|-------------------|-------------------|--------------|
|                        |                                                                                                                                                                                                                                                                       |                   | 令和3年度            | 令和4年度             | 令和5年度             |              |
| 市民満足度調査における満足度         | 25.9%<br>（平成30年度）                                                                                                                                                                                                                                                     | ↗<br>（令和5年度）      | 26.8%<br>（令和3年度） | —                 | 20.2%<br>（令和5年度）  | ▲            |
| 日頃から災害への備えをしている市民の割合   | 37.5%<br>（平成30年度）                                                                                                                                                                                                                                                     | ↗<br>（令和5年度）      | 37.7%<br>（令和3年度） | —                 | 37.3%<br>（令和5年度）  | ▲            |
| 地域防災リーダー数              | 229人<br>（平成30年度末）                                                                                                                                                                                                                                                     | 450人<br>（令和6年度末）  | 274人<br>（令和3年度末） | 336人<br>（令和4年度末）  | 388人<br>（令和5年度末）  | ○            |
| 自主防災活動への参加者数           | 3,699人<br>（平成30年度）                                                                                                                                                                                                                                                    | 4,500人<br>（令和6年度） | 482人<br>（令和3年度）  | 1,378人<br>（令和4年度） | 2,855人<br>（令和5年度） | ▲            |
| 地震防災ハザードマップを知っている市民の割合 | 70.1%<br>（平成30年度）                                                                                                                                                                                                                                                     | ↗<br>（令和5年度）      | 80.1%<br>（令和3年度） | —                 | 78.3%<br>（令和5年度）  | ○            |
| 市内の住宅耐震化率              | 74%<br>（平成30年度末）                                                                                                                                                                                                                                                      | 95%<br>（令和6年度末）   | 76%<br>（令和3年度末）  | 76%<br>（令和4年度末）   | 76%<br>（令和5年度末）   | ▲            |
| 後期計画期間の<br>達成状況の分析     | ■ 市民満足度については、3本の河川が流れる本市では水害に関する市民の関心は高く、近年全国的に線状降水帯が発生し被害が生じていることから、水害対策に不安を持つ市民が一定数おり、満足度の減少を招いていると推察する。<br>■ 日頃から災害の備えをしている市民の割合は、基準値付近を推移している。地域の自主防災訓練や行政出前講座などに職員が赴き、自助・共助の重要性や備蓄の必要性等に関する講話を継続的にしているが、新型コロナウイルス感染症の影響により行事の参加者が減少したことに伴って、割合の増加に結びつかなかったと推察する。 |                   |                  |                   |                   |              |

III 令和5年度の主な取組結果

- 【民間木造住宅耐震化促進費】  
民間木造住宅の耐震診断を27件、民間木造住宅の耐震改修に対する補助を1件、民間木造住宅の除却に対する補助を10件実施した。  
【空家等対策費】
- 不良住宅の解体に対する補助を4件実施した。  
【自主防災活動支援補助金】
- 防災資機材購入事業（ハード事業）については29ブロック、自主防災組織活性化事業（ソフト事業）については1ブロックに対し補助を実施した。  
【五条川防災センター費】
- 五条川右岸堤防側に指定避難所及び防災資機材等備蓄倉庫としての機能を有した施設を整備するため、令和4年度に作成した実施設計に基づき、令和6年7月供用開始を目指し工事を開始した。

IV 事務事業評価

※達成状況については、目標値を上回る・・・◎、目標値を達成・・・○、目標値を下回る・・・▲としている。

| 事業名           | 決算額（千円）<br>[執行率（％）]                                                                                                             |                 | 活動指標①                                                |            |  | 活動指標②                                          |            |  |
|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|------------------------------------------------------|------------|--|------------------------------------------------|------------|--|
|               | 令和4年度                                                                                                                           | 令和5年度           | R5目標値                                                | R5実績値と達成状況 |  | R5目標値                                          | R5実績値と達成状況 |  |
| 防災訓練費         | 1,492<br>[96.7]                                                                                                                 | 1,640<br>[97.9] | 総合防災訓練の参加者数（人）<br>750      400      ▲                |            |  | 総合防災訓練への協力機関数（団体）<br>22      20      ▲         |            |  |
| 事業の有効性の評価     | 大規模地震を想定した総合的かつ実践的な防災訓練を実施することにより、協力機関との相互協力体制の構築及び市の防災体制の強化を図る。                                                                |                 |                                                      |            |  |                                                |            |  |
| 事業実施にあたり工夫した点 | 災害時の連携を想定し、関係機関である西春日井広域事務組合消防本部、西枇杷島警察署、自衛隊、ライフライン事業者などに参加を依頼した。また、昨年度より参加団体を4団体増やし実施した。                                       |                 |                                                      |            |  |                                                |            |  |
| 地域防災リーダー養成費   | 309<br>[71.0]                                                                                                                   | 444<br>[98.8]   | 地域防災リーダー養成講座の受講者数（人）<br>50      52      ○            |            |  | 地域防災リーダーフォローアップ講座の受講者数（人）<br>50      37      ▲ |            |  |
| 事業の有効性の評価     | 地域防災リーダー養成講座を開催し、災害発生時の避難所運営や、地域の自主防災活動においてリーダーシップを発揮できる人材を育成することにより、地域防災力の向上につながる。また、定期的にフォローアップ講座を開催することにより、地域防災リーダーの資質が向上する。 |                 |                                                      |            |  |                                                |            |  |
| 事業実施にあたり工夫した点 | 地域防災リーダー養成講座（フォローアップ講座）の内容を指定避難所における避難所開設演習とし、災害発生時に活動できる人材の育成を図った。                                                             |                 |                                                      |            |  |                                                |            |  |
| 自主防災活動支援補助金   | 4,235<br>[84.0]                                                                                                                 | 6,278<br>[94.2] | 対策期間における自主防災組織補助金の活用ブロック数（ブロック）<br>38      38      ○ |            |  | 消火器の消火薬剤詰め替えに対する補助件数（件）<br>38      13      ▲   |            |  |
| 事業の有効性の評価     | 地域住民が設立したブロック自主防災組織が実施する防災資機材購入事業や自主防災組織活性化事業（防災に関する計画の作成、防災啓発活動の実施、防災研修会の実施など）に対して補助を行うことにより、地域住民の自主防災活動が活性化する。                |                 |                                                      |            |  |                                                |            |  |
| 事業実施にあたり工夫した点 | 市政推進委員会、自主防災訓練及び行政出前講座などの機会を通じて、補助制度の周知を図った。                                                                                    |                 |                                                      |            |  |                                                |            |  |
| 民間木造住宅耐震化促進費  | 3,148<br>[99.7]                                                                                                                 | 4,603<br>[48.7] | 民間木造住宅耐震診断の実施件数（件）<br>40      27      ▲              |            |  | 民間木造住宅耐震改修に対する補助件数（件）<br>4      1      ▲       |            |  |
| 事業の有効性の評価     | 旧基準木造住宅（昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅）について、耐震診断や耐震改修無料相談会、耐震改修費用に対する補助、除却費用に対する補助などを行うことにより、地震発生時における木造住宅の倒壊等による被害の軽減を図る。              |                 |                                                      |            |  |                                                |            |  |
| 事業実施にあたり工夫した点 | ホームページや広報への折込チラシ等を活用し、市民に対し広く周知を行った。また、耐震診断の際には必ず今後の改修等を提案している。                                                                 |                 |                                                      |            |  |                                                |            |  |

V 施策の評価と今後の方向性

- 災害発生時における備蓄食料等については、市でも計画的に一定数購入し、災害連携協定を企業等と締結し体制構築をしているが、災害という不測の事態においては、市民一人ひとりが災害の備えをしていくことも重要である。この数年間において、日頃から災害への備えをしている市民の割合が増えていないため、現状の普及活動に加え、広報での定期的な普及等を行っていく必要がある。
- 災害時においては、行政を中心に関係機関と連携して対応を進めていくこととなるが、地域においても活動できる人材がいることで減災につなげられる。そのため、新型コロナウイルス感染症により中止した年度以外については、毎年度一定の地域防災リーダーの養成ができていたが、今後も引き続き地域防災リーダーのさらなる養成を行っていく。
- 災害時において、老朽化した空き家等は避難や応急活動の妨げとなる可能性があるため、その前段階である不良住宅となっている空家の解体工事にし補助金の交付等を実施し、地震発生時における倒壊等による災害の防止及び平時からの安全確保を図る。

令和 6 年 度 行 政 評 価 （ 令 和 5 年 度 対 象 ） シ ー ト

政策 4 便利で快適に暮らせるまちをつくる  
施策 405 公共交通の充実

**施策 405 公共交通の充実** **主担当課： 企画政策課**  
○施策の目指す姿

○施策の目指す姿

「あしがるバス」を中心とした公共交通網が充実し、市内移動の利便性が向上しています。

○施策の展開

- 1 コミュニティバスの運行
- 2 各種イベント等を通じた利用促進
- 3 利用環境整備の推進
- 4 ルート・ダイヤ等の見直し
- 5 福祉有償運送制度の運用

- 1 コミュニティバスの運行
- 2 各種イベント等を通じた利用促進
- 3 利用環境整備の推進
- 4 ルート・ダイヤ等の見直し
- 5 福祉有償運送制度の運用

○令和6年度 事務事業評価実施事業（令和5年度対象）  
1 コミュニティバス運行費

- 1 コミュニティバス運行費

## Ⅰ 施策の関連データ・施策を取り巻く状況

○施策の関連データ

| 「あしがるバス」の利用者数<br>(人) ※清須市調べ | 令和元年度  | 令和2年度  | 令和3年度  | 令和4年度  | 令和5年度  |
|-----------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
|                             | 82,609 | 64,954 | 70,263 | 76,035 | 86,587 |

○施策を取り巻く状況（基本計画策定時からの変化など）

- 平成18年10月に運行を開始したコミュニティバス「あしがるバス」は、本市の公共交通の核として、日中の市内移動の利便性向上に重要な役割を果たしている。
- 平成30年10月から「ブルールート」を新設するとともに、既存ルートの増便、乗り換えしやすいダイヤの設定、パターンダイヤの導入を行った。
- 令和2年3月に策定した「清須市地域公共交通計画」に基づき、ルート・ダイヤの最適化に向けて、令和2年11月から12月にかけて「公共交通に関する市民アンケート調査等」を実施し、市民ニーズ及び実際の乗車状況の把握に努めた。
- 令和4年10月にルート・ダイヤ改正を施行し、運行ルートの単純化、ブルールート帰宅便の導入など利便性の向上を図った。

## II 達成度指標の状況

※達成状況の凡例：目標値を上回る（上回る見込）…◎、目標値を達成（達成する見込）…○、目標値を達成できず（達成が困難である見込）…▲、現状値を把握していない…ー

| 達成度指標                   | 基準値               | 後期計画<br>目標値     | 実績値              |                 |                  | 目標値の<br>達成状況 |
|-------------------------|-------------------|-----------------|------------------|-----------------|------------------|--------------|
|                         |                   |                 | 令和3年度            | 令和4年度           | 令和5年度            |              |
| 市民満足度調査における満足度          | 30.4%<br>(平成30年度) | ↗<br>(令和5年度)    | 29.1%<br>(令和3年度) | —               | 21.7%<br>(令和5年度) | ▲            |
| 「あしがるバス」を利用したことがある市民の割合 | 16.0%<br>(平成30年度) | ↗<br>(令和5年度)    | 18.0%<br>(令和3年度) | —               | 27.9%<br>(令和5年度) | ◎            |
| 「あしがるバス」を知っている市民の割合     | 97.9%<br>(平成30年度) | →<br>(令和5年度)    | 97.1%<br>(令和3年度) | —               | 98.2%<br>(令和5年度) | ○            |
| 「あしがるバス」の1便あたりの利用者数     | 5.6人<br>(平成30年度)  | 6.5人<br>(令和6年度) | 4.5人<br>(令和3年度)  | 4.8人<br>(令和4年度) | 5.4人<br>(令和5年度)  | ▲            |
|                         |                   |                 |                  |                 |                  |              |
|                         |                   |                 |                  |                 |                  |              |

|                 |                                                                                                                                                            |
|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 後期計画期間の<br>主要項目 | <p>■ 「あしがるパス」を利用したことがある市民の割合は9.9ポイント上昇しており、また「あしがるパス」の令和5年度の利用者数は、過去最多であることから「あしがるパス」が市民の生活に定着しつつある。それに伴って、もっと利用したいと考える者からのさらなる期待が満足度の低下という形で表れたと推察する。</p> |
|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

### III 令和5年度の主な取組結果

【コミュニティバス運行費】

- 令和7年度を始期とする次期地域公共交通計画の策定に向けて、令和5年11月に「公共交通に関する市民アンケート調査等」を実施し、地域課題や移動実態の把握に努めた。
- 利用促進施策として、バス乗り方教室、一日無料デー及びさくらまつりでのPR活動を継続して実施するとともに、乗り方チラシを作成し、主な利用者である高齢者に向けて乗り方の周知を図った。

## IV 事務事業評価

※達成状況については、目標値を上回る…◎、目標値を達成…○、目標値を下回る…▲としている。

| 事業名           |  | 決算額（千円）<br>[執行率（％）]                                               |        | 活動指標①          |            |   | 活動指標②            |            |   |
|---------------|--|-------------------------------------------------------------------|--------|----------------|------------|---|------------------|------------|---|
|               |  | 令和4年度                                                             | 令和5年度  | R5目標値          | R5実績値と達成状況 |   | R5目標値            | R5実績値と達成状況 |   |
| コミュニティバス運行費   |  | 76,764                                                            | 80,111 | あしがるバスの利用者数（人） |            |   | 利用促進イベントの実施回数（回） |            |   |
|               |  | [95.1]                                                            | [96.4] | 97,500         | 86,587     | ▲ | 3                | 3          | ○ |
| 事業の有効性の評価     |  | 「あしがるバス」を運行することにより、高齢者や主婦層等の日中における市内移動の利便性が向上している。                |        |                |            |   |                  |            |   |
| 事業実施にあたり工夫した点 |  | 主な利用者である高齢者に向けて、バスの乗り方チラシを作成するとともに、寿会役員会で会員全員への配布を依頼し、乗り方の周知を図った。 |        |                |            |   |                  |            |   |
|               |  |                                                                   |        |                |            |   |                  |            |   |
|               |  |                                                                   |        |                |            |   |                  |            |   |
|               |  |                                                                   |        |                |            |   |                  |            |   |
|               |  |                                                                   |        |                |            |   |                  |            |   |
|               |  |                                                                   |        |                |            |   |                  |            |   |
|               |  |                                                                   |        |                |            |   |                  |            |   |
|               |  |                                                                   |        |                |            |   |                  |            |   |
|               |  |                                                                   |        |                |            |   |                  |            |   |
|               |  |                                                                   |        |                |            |   |                  |            |   |
|               |  |                                                                   |        |                |            |   |                  |            |   |
|               |  |                                                                   |        |                |            |   |                  |            |   |
|               |  |                                                                   |        |                |            |   |                  |            |   |

## V 施策の評価と今後の方向性

- これまで継続して実施してきたバスの乗り方の周知や利用促進活動の効果もあり、「あしがるバス」の利用者数が増加傾向にある。多くの方に今後も利用していただけるようバスの乗り方の周知や利用促進活動を継続するとともに、一定期間ごとに実施しているルート・ダイヤ等の改正により利便性の高い運行を検討していく。
- 市全体の公共交通に関し、令和6年度に清須市地域公共交通計画の計画期間が満了を迎えるにあたり、令和5年度に実施した「公共交通に関する市民アンケート調査等」の結果を踏まえ、地域公共交通を持続的なものとし、更なる利便性向上に向けた次期地域公共交通計画を策定していく。



令和6年度行政評価（令和5年度対象）シート

政策 6 豊かなところとからだをはぐくむまちをつくる

施策 604 スポーツ・レクリエーション活動の振興

主担当課：スポーツ課

○施策の目指す姿

スポーツ・レクリエーションの普及と振興を通じて、健康で豊かな市民生活がはぐくまれています。

○施策の展開

- 1 スポーツの普及に向けた取組の推進
- 2 市民体育祭等の開催
- 3 清須ウオークの実施
- 4 スポーツ活動を行う団体への支援
- 5 総合型地域スポーツクラブへの支援
- 6 スポーツ・レクリエーション施設の管理・運営

○令和6年度 事務事業評価実施事業（令和5年度対象）

- 1 清須ウオーク費
- 2 体育協会補助金
- 3 清洲勤労福祉会館費
- 4 新川地域文化広場費

I 施策の関連データ・施策を取り巻く状況

○施策の関連データ

|                         | 令和元年度   | 令和2年度   | 令和3年度   | 令和4年度   | 令和5年度   |
|-------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| アルコ清洲利用者数（人）<br>※清須市調べ  | 296,867 | 100,119 | 134,961 | 254,671 | 303,279 |
|                         | 令和元年度   | 令和2年度   | 令和3年度   | 令和4年度   | 令和5年度   |
| カルチバ新川利用者数（人）<br>※清須市調べ | 95,673  | 51,730  | 74,005  | 98,073  | 90,164  |

○施策を取り巻く状況（基本計画策定時からの変化など）

- 清須ウオーク、市民体育祭、市民ソフトボール大会、体育協会主催の市民大会などの各種スポーツ事業を展開し、スポーツを通じた市民交流を図る機会を提供している。市民の自主的なスポーツ活動の促進及びスポーツを楽しむことができる環境づくりの推進にあたっては、総合型地域スポーツクラブ「きよすスポーツクラブ」が大きな役割をはたしており、財政面や運営面の支援をしている。
- アルコ清洲、カルチバ新川及び春日B＆G体育館などの体育施設は、老朽化が進んでいるため、順次適正な改修・大規模な修繕を行っている。

II 達成度指標の状況

※達成状況の凡例：目標値を上回る（上回る見込）・・・◎、目標値を達成（達成する見込）・・・○、目標値を達成できず（達成が困難である見込）・・・▲、現状値を把握していない・・・

| 達成度指標                           | 基準値                                                                                                                                                                                                                | 後期計画<br>目標値        | 実績値              |                  |                  | 目標値の<br>達成見込 |
|---------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|------------------|------------------|------------------|--------------|
|                                 |                                                                                                                                                                                                                    |                    | 令和3年度            | 令和4年度            | 令和5年度            |              |
| 市民満足度調査における満足度                  | 26.3%<br>（平成30年度）                                                                                                                                                                                                  | ↑<br>（令和5年度）       | 23.3%<br>（令和3年度） | —                | 22.3%<br>（令和5年度） | ▲            |
| 週1回以上スポーツ・レクリエーション活動を行っている市民の割合 | 20.0%<br>（平成30年度）                                                                                                                                                                                                  | ↑<br>（令和5年度）       | 21.9%<br>（令和3年度） | —                | 23.4%<br>（令和5年度） | ○            |
| 総合型地域スポーツクラブの会員数                | 361人<br>（平成30年度末）                                                                                                                                                                                                  | 500人以上<br>（令和6年度末） | 274人<br>（令和3年度末） | 335人<br>（令和4年度末） | 367人<br>（令和5年度末） | ▲            |
|                                 |                                                                                                                                                                                                                    |                    |                  |                  |                  |              |
|                                 |                                                                                                                                                                                                                    |                    |                  |                  |                  |              |
|                                 |                                                                                                                                                                                                                    |                    |                  |                  |                  |              |
| 後期計画期間の<br>達成状況の分析              | ■ 市民満足度については、前回より1.0ポイント減少している。週1回以上スポーツ・レクリエーション活動を行っている市民の割合が増加しており、スポーツに対する需要が高まる中で、満足度が減少した要因として事業のマナー化やスポーツができる環境に満足できていないということが想定される。<br>■ 総合型地域スポーツクラブの会員数についても、スポーツをする人の増加に伴い、新型コロナウイルス感染症の流行前までの数値まで回復した。 |                    |                  |                  |                  |              |

III 令和5年度の主な取組結果

- 【清須ウオーク費】  
清須ウオークを11月・翌3月に開催した。（※参加者数 11月：253名、翌3月：747名）  
【清洲勤労福祉会館費】
- ヒートポンプ等更新工事として、GHP用室外機・室内機、EHP用室外機・室内機、キュービクル及び非常用発電機について作製発注をした。  
【新川地域文化広場費】
- 利用者の安全を確保するため、プール天井・エントランス非構造部材の耐震改修工事を実施した。  
【その他】
- スポーツの振興を図るため、スプリングフェスティバル、市民ソフトボール大会、各地区体育祭等を開催した。

IV 事務事業評価

※達成状況については、目標値を上回る・・・◎、目標値を達成・・・○、目標値を下回る・・・▲としている。

| 事業名           | 決算額（千円）<br>〔執行率（％）〕                                                                                         |                   | 活動指標①          |            |   | 活動指標②             |            |   |
|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|----------------|------------|---|-------------------|------------|---|
|               | 令和4年度                                                                                                       | 令和5年度             | R5目標値          | R5実績値と達成状況 |   | R5目標値             | R5実績値と達成状況 |   |
| 清須ウオーク費       | 2,892<br>〔76.4〕                                                                                             | 2,926<br>〔98.0〕   | 清須ウオークの開催回数（回） |            |   | 清須ウオークへの協力団体数（団体） |            |   |
|               |                                                                                                             |                   | 2              | 2          | ○ | 9                 | 3          | ▲ |
| 事業の有効性の評価     | 清須ウオークを実施することにより、運動の機会を提供し健康増進や体力向上を図ることができる。                                                               |                   |                |            |   |                   |            |   |
| 事業実施にあたり工夫した点 | 市観光協会と連携し、武将隊によるグリーティングや清須からあげまぶしを食べることができる販売エリアを設置する等の工夫を行い、参加者の増加を図った。                                    |                   |                |            |   |                   |            |   |
| 体育協会補助金       | 5,340<br>〔100.0〕                                                                                            | 5,034<br>〔100.0〕  | 体育協会の会員数（人）    |            |   | 体育協会の主催大会数（大会）    |            |   |
|               |                                                                                                             |                   | 2,300          | 1,840      | ▲ | 23                | 24         | ◎ |
| 事業の有効性の評価     | アマチュアスポーツの普及・振興活動及び市民のスポーツへの関心を高めるための事業を実施している清須市体育協会の運営支援を行うことにより、スポーツを通して快適で魅力あるまちづくりに寄与することができる。         |                   |                |            |   |                   |            |   |
| 事業実施にあたり工夫した点 | 体育協会主催の大会や市民が参加できる市民大会など各種活動に係る事業費に対し、年間を通じてスポーツ活動が活性化できるよう適正な運営支援を行った。また、体育協会のホームページにて、各団体の紹介や年間活動の報告を行った。 |                   |                |            |   |                   |            |   |
| 清洲勤労福祉会館費     | 156,311<br>〔97.2〕                                                                                           | 286,193<br>〔99.4〕 | アルコ清洲の利用者数（人）  |            |   | 指定管理者が行う自主事業数（事業） |            |   |
|               |                                                                                                             |                   | 330,000        | 303,279    | ▲ | 70                | 70         | ○ |
| 事業の有効性の評価     | 指定管理者制度を活用し、質の高いサービスが提供されるとともに、魅力ある自主事業が実施することにより、利用者が増加し、市民の健康増進・体力向上に寄与する。                                |                   |                |            |   |                   |            |   |
| 事業実施にあたり工夫した点 | 指定管理者が有するノウハウを十分に活用してサービス提供を行った。また、定期的な打合せにより、利用者の安全確保に必要な施設修繕箇所等の情報を交換した。                                  |                   |                |            |   |                   |            |   |
| 新川地域文化広場費     | 129,957<br>〔99.3〕                                                                                           | 233,045<br>〔97.3〕 | カルチバ新川の利用者数（人） |            |   | 指定管理者が行う自主事業数（事業） |            |   |
|               |                                                                                                             |                   | 100,000        | 90,164     | ▲ | 23                | 23         | ○ |
| 事業の有効性の評価     | 指定管理者制度を活用し、質の高いサービスが提供されるとともに、魅力ある自主事業が実施することにより、利用者が増加し、市民の健康増進・体力向上に寄与する。                                |                   |                |            |   |                   |            |   |
| 事業実施にあたり工夫した点 | 指定管理者が有するノウハウを十分に活用してサービス提供を行った。また、定期的な打合せにより、利用者の安全確保に必要な施設修繕箇所等の情報を交換した。                                  |                   |                |            |   |                   |            |   |

V 施策の評価と今後の方向性

- スポーツ・レクリエーション活動を行っている市民が増えており、施策の目指す姿に近づいているが、その一方で満足度は低下している。満足度調査の1つの回答意見として、「新たな施設を増設するなど、スポーツができる環境を充実してほしい」というものが複数件あったが、本市においてその実現性は低い。その代替として、既存の施設が利用しやすくなるよう予約環境を整備しスポーツができる環境を充実させていくとともに、体育施設を安全に利用できるよう改修工事等を行い、施設を維持していくことで、スポーツに対する需要に対応し満足度の上昇を図っていきたい。
- また、施策の目指す姿により近づくために、清須ウオークをはじめとする各種事業や総合型地域スポーツクラブの種目などにおいて、目新しさがある企画や市民ニーズへの対応など参加者を増やすことを常に検討し、スポーツやレクリエーション活動を行っている人及び総合型地域スポーツクラブの会員数の増加を図っていきたい。
- 個々の事業としては、各地区ごとで開催している「市民体育祭」や地区対抗で行う「市民ソフトボール大会」については、少子高齢化の進展や生活様式の変化により、地域の役員が出場者集めなどに苦慮する場面があり、参加しやすい種目や募集の方法などの検討が必要である。